

第340号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



さわやかな風



カット：本多絢子

新緑したたる好季節がやって来ました。鯉のぼりが風をはらんで楽しそうに大空を泳いでいます。皆様、如何お過ごしでしょうか。

本州と四国を結んだ瀬戸大橋が4月10日、開通30周年を迎え、地元倉敷市も四国との交流が深まり喜んでいきます。15日(日)には心光寺の春の法要が午前から盛大に催され、本堂前の庭に芝桜や牡丹の花が満開に咲き、参詣者の方々も花に迎えられ感激して下さいました。

4月4日は選抜高校野球の決勝が午後からあり、大阪桐蔭高校が優勝して史上3校目の大会連覇で輝かしい記録をつくり、高校野球ファンを魅了したのは素晴らしいですね。ちょうど同じ時刻頃、京都府舞鶴市で開かれていた大相撲の春巡業「舞鶴場所」で、土俵上であいさつをしていた多々見舞鶴市長(67)が倒れ、複数の女性が土俵上で市長に心臓マッサージなどの救援活動をしていたところ、3回にわたって「女性の方は土俵から降りて下さい」と場内アナウンスがあったという事で、物議を醸しています。大相撲の土俵上は古くから「女人禁制」とされていたので相撲協会も緊急時の対応策を検討したいという「おわび」のコメントを出し、愚僧もほっとしました。

春は別れと出会いの季節ですが、4月5日にアニメーション映画監

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

督の高畑勲さんが満82歳で肺ガンのため東京都内の病院で死去し、多くのファンを悲しませています。高畑さんは三重県生まれですが、父親の転勤で少年時代を岡山で過ごします。父親は岡山県の初代教育長を務めており、高畑さんも県立朝日高校を経て東京大学仏文科を卒業後、東映動画に入社しました。

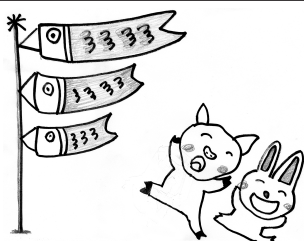
高畑さんは1945年の9歳で体験した岡山の空襲が人生最大のごとだったと回想し、「物音が目覚めると外に炎が見え、姉と2人で裸足で家を飛び出した。町には焼夷弾が火を噴いて雨のように降る。逃げ惑い、炎に囲まれて一時は死も覚悟したが、どうにか旭川の河原にたどり着いた」と3年前の岡山市内で開かれた講演会で語り、この空襲体験が、その後の作品作りに反映されていたそうです。

平和を愛し、夢を追い続けた高畑さんは1970年代に「アルプスの少女ハイジ」「母をたずねて三千里」等のアニメのテレビシリーズをみずみずしい感性で演出し、日本アニメの礎を築きあげたのです。

84年には宮崎駿監督の映画「風の谷のナウシカ」をプロデュース、翌年、宮崎監督とスタジオジブリを設立し、二人三脚でヒット作を生み、また、野坂昭如さんの小説「火垂るの墓」を監督・脚本でアニメ映画化し、戦争体験映画として多くの人を感動させました。美しい野や山の風景、自然をめで、日本の里山を愛した高畑さんは「人にとって幸せとはなにか」を真剣に考察して欲しいと日本のアニメーション表現の限界に挑み、人としての生きる意味を深く問い続けました。

『大無量寿経』に「人間ほど浅はかなものはない。いずれも急がなくてもよいことを急ぎ、争わなくてもよいことを争っている。この激しい悪と苦しみの渦の中に、あくせくとして勤め働き、それによってやっと生計を保っているのである」とありますが、森友学園の国有地値引きの文書改ざん問題や財務省事務次官の福田氏が女性記者へのセクハラ問題で辞任し、国政が混乱状態は、日本国民として寂しい限りです。人の生き方やあり方を深く見つめようよ。合掌(奥原曇龍)

『人として生き方あり方見つめつつ 爽やかな風のように生きよう』 どんりゅう



カット：奥原唯

ともしび説法

日時・五月 九日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
六月十二日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂
電話086-420-1311



お釈迦様ものがたり 19

お釈迦様は二十九歳の時、釈迦国の王子の位を捨てて妻と子を置いて、出家をしました。600キロも離れた南方のマガダ国を目指したのは、優秀な哲学バラモンや人生を真剣に考える沙門たちが多くいたのと、釈迦国から連れ戻される心配のない遠い国であったことが大きな理由でした。出家をして厳しい修行をするのは、人として生きる意味、死んでいく意味を見つかることであり、人として永遠に安らかな心の境地を得るためです。

お釈迦様は途中のマッラー国で髪を切り、装飾の具をはずし、みすばらしい衣と取り替えて、出家者の姿となり、手に鉢を携えて、托鉢をなしつつ、マッラー国からワッジー国へと南下しました。

今まで贅沢な生活をしてきた王子には、もらい集めた不味いお粗末な食事は、のどに通らないこともあったでしょうが、一切を覚悟していたお釈迦様には、やがてそれも慣れてきたことでしょう。

仏教語に慣れていない読者の皆様も少しずつ仏教の言葉に慣れられましたか。仏教の出家者は袈裟といわれる衣を着ましたが、袈裟とは、柿渋色の衣という意味です。仏教僧侶の衣は、墓場やゴミ捨て場などから古い布を拾い集め、布地のしつかりした部分だけを縫い合わせて、以前の色を消すために柿渋色に染めて、衣を作りました。五条袈裟・七条袈裟・九条袈裟などと呼ぶのも、本来は縫い合わせた布片の数をさすのであり、のちには新しい布で袈裟を作る場合も、これを布片に裁断して縫い合わせたのは、元来の風習に従ったもので、今、現在もそうです。

頭髪については出家者である限り、男も女も髪を切り、剃るのが原則です。浄土真宗は在家の僧侶であることから、僧侶になるときだけ男性は頭髪を剃りますが、その後は頭髪を伸ばしても自由です。合掌 (奥原曇龍)

母の日に母を偲びつ寺詣り 山門くぐれば夕陽のともしび 田辺多恵子



ママさんと子供たちのハンドベル演奏(春の法要にて)

ともしび法話

新緑したたる好季節、皆様お元気でしうか。ゴールデン・ウィークは御家族一緒に遊びに行けたらよいですね。

お寺も春の法要が盛大に行われ、総代さんや世話人さんのお陰と感謝しています。毎月の「ともしび説法」にも宗派を問わずご参加下されば有り難いです。

心光寺坊主(ぼうもり) 奥原 博子

このたびは平成27〜29年をまとめた『ともしび』こころ澄ませばを有り難うございました。寄稿文『大慈悲はあまねく照らす』を再読し、どんな人をも許す気持ちを持つことが出来たとき、自分が救われるのではないかと思ひ、有り難かったです。

都窪郡早島町 平松 公子

春の法要では、午前中の子供たちとママさんによるハンドベル演奏や松本一郎さん夫婦と村木陽子さんによるピアノ連弾演奏やチェロ演奏、今井勉さんのパンフルート演奏があり、午後から法要儀式と仏教講演があり、素晴らしい1日でした。春爛漫のお寺の庭に牡丹の花も満開で嬉しかったです。倉敷市西坂 貝原富美子

ともしび説法

日時・五月 九日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
六月 十二日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

七月 十一日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
八月 二十四日(金)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。
九月 五日(水)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成21〜23年、平成24〜26年、平成27〜29年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。

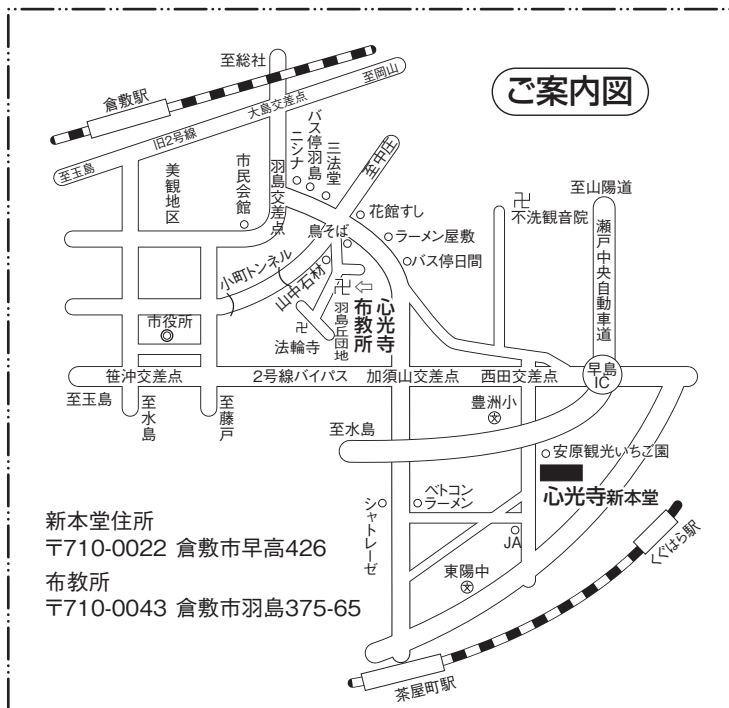


いさなの詩

若葉輝き 風薫る五月
橋の下には きれいな小川
卑屈な心が洗い流され
ふっと自分をとりもどす
変に人と比較して悩み
本当の自分を愛せなかつた
自然の中で自分と出会う



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

倉敷市 河野様 東様 大野様 川越様 矢野田様 四千円
岡山市 福岡様 四千円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「340号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法が午後の日には茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健